

会員コラム

事務所移転裏話

2007年7月12日、我が日本騒音制御工学会の事務局は、長年住み慣れた武蔵野の地を離れ、千代田区麹町に移転いたしました。学会誕生以来、小林理化学研究所内に事務局を置き、小林理研ならびにリオン株式会社の皆様から有形無形の様々かつ多大な援助をいただいております。これまで事務局の運営が滞りなくなされてきたのも、沢山の方々のおかげでございまして、ご助力によるものとあらためて感謝する次第です。しかし、国分寺という場所柄、多くの会員が気軽に事務所を訪れることが出来にくいことなどから、事務所を都心に移転する案は以前から出されており、このための基金が積み立てられてきておりました。今春、都心での会議に頻繁に利用してきた低額料金の貸会議室が閉鎖となり、これを別の貸会議室で行うとこの先かなり出費が増えることがわかりました。積み立ててきた基金も事務所開設に不足のない金額となっておりますので、これを機に都心への移転を真剣に検討しようということになったわけです。

と、ここまで硬い感じで書いてきましたが、ここからは裏話らしく、私が今年初めに事務所移転に関する特命理事を仰せつかり、その後物件探しを始めたあたりからの顛末をまとめてみたいと思います。

「都心への事務所移転！」と言ったところで、何から始めたらいいの？ というのが正直な気持ちでした。賃貸事務所の相場調査、引越し費用の概算、必要になる什器備品のリストアップ、そして何よりも物件探し！ おおよそこのあたりが私に課せられた役割かなあと思い、まずはあても無くネット検索を始めたのが今年の2月だったと記憶しています。それから信頼の置ける不動産やさんはいないかなあとしばらく考えたところ、ふと思いついたのが年に3回くらい某研究会（実態は懇親会）でお会いするKさんでした。業界が微妙に違うかなあと思いつつ連絡してみたところ、あっという間に私が挙げた条件の物件リストが送られてきました。なるほどこういうことはスピードが大事なのだと思い知り、早速30件ほどの物件リストから良さそうなものを3箇所選び、3月9日に内覧させてもらいました。四谷、麹町、本郷と歩きましたが、2件目に訪れた「麹町グリーンビル」は、同行した前述のKさんも「広いね！ いいね！ほんとにここ、値段合ってる？」と驚いて担当者に聞き直すほどの好物件で、私も直感的に「ここがいいな！」と思ったのでした。決して新しいビルではありませんが、通りに面した広いガラ

スが明るい雰囲気を生み、ワンフロア全部を借りられる上、廊下に出られるドアが3つあるため、レイアウトを工夫すれば事務局と会議室に別々に入出りできるのです。給湯室やお手洗いが共有スペースとなっていて、賃貸面積に含まれないこともお得な感じでした。それにこれならトイレ掃除を事務局スタッフがやることもないし、会議室を事務所併設しても大丈夫と思いました。駅が近いことも気に入りました。最寄り駅は地下鉄ですが、JR四谷駅から歩ける距離です。そしてビルの名前も何となく環境にやさしそうで、いいなと思いました。

さて、とんとん拍子に良い物件を見つけてしまったのですが、実際に契約ができるのは5月の総会後。2ヶ月もの間、ビルのオーナーさんが待っていてくれるかしら、というのがとても心配でした。でも、同じビルの最上階に住んでいるオーナーさんを訪ねて諸々の事情を説明したところ、あっさり了解してくださり、理事会の決定と総会での承認を待っていてくれることになりました。

その後オーナーさんが、床壁天井のリフレッシュ工事をしてくださったので、5月に確認に行った時のこと。「天井も白く塗り直しておきました！」とニコニコしておっしゃるので何も言えませんでした。岩綿吸音板の天井が塗料で塗られ、すっかり吸音性能を失っていました。事務所&会議室として使うのに支障はありませんが、音の響きの感じが確かに変わるものだなあと実感し、騒音制御についてももっともっと一般の方々にもPRしていかなければならないことを痛感した次第です。皆様も新事務所を訪れた際は、この天井を失敗例としてご確認ください。

さて、こうして無事移転した新事務所ですが、事務所エリアと大会議室、小会議室を備え、理事会や各種部会・委員会、分科会などに使うことができます。また徐々にではありますが、当学会や騒音制御に関する書籍や資料を会員の皆様に自由に閲覧いただくスペースも充実させていく予定です。そして小規模なセミナーや一般の方々を対象とする相談窓口の設置など、社会貢献の拠点として積極的に活用していきたいと思っております。

社交辞令ではなく、ぜひ皆様お近くにお越しの際はお待ちしております。

なおビルの名前は「グリーンビル」ですが、外壁はオレンジ色ですので、どうぞお間違えなきよう。

(将来計画等担当特命理事：船場ひさお)